

国家間の予期せぬ紛争から生じる地政学リスクの観点から見たスチュワードシップの枠組み

当社は資産受託者として、二国間あるいは多国間での予期せぬ紛争に関連する金融リスクを認識しており、それが適切である場合には、エンゲージメントや議決権行使を通じて関連リスクの軽減を図ることがあります。アセット・スチュワードシップ・チームは、臨機応変に、ある状況が当社のポートフォリオにとって重要な紛争であるかどうかを、以下の諸点を考慮しながら評価していきます。

- 重大な市場の混乱を引き起こすか
- 情報に基づいた意思決定ができないほど、情報の流れを混乱させないか
- 当社の顧客に、風評リスクまたは総合的なリスクをもたらさないか、および／または
- 政府による制裁を受けることにならないか

当社では、影響を受ける企業とは、紛争の影響を受ける地域へのエクスポージャーを持つ企業としており、例えば以下のような場合が考えられます。

- 紛争地域の市場に拠点を置いている¹
- 現地の顧客から多額の収益を得ている
- 現地で従業員を雇用している
- 現地で合併事業や提携を行っている、および／または
- 当該地域で子会社を運営している

そのような場合、以下のような枠組みで、株主価値の保護に努めます。

影響を受ける企業に対して、当社が求めること

当社では、世界的な紛争によって影響を受ける可能性のある投資先企業に対して、以下のことを期待します。

- 影響を受ける市場での事業展開に関連するリスクを管理し、軽減すること。これらのリスクには金融リスク、制裁リスク、規制リスク、および／または、風評リスクなどが含まれます
- これらの取り組みに対する取締役会の監督を強化すること、および
- これらの取り組みを公表すること

紛争状況下で特有のこれらの項目に加えて、当社が既に保有している「[人権についての開示と実践に関するガイダンス](#)」は、当社のポートフォリオに含まれるすべての企業に適用されます。

エンゲージメント

上記の基準を活用し、影響を受ける市場へのエクスポージャーを持つ投資先企業に的を絞って、エンゲージメントを要請することがあります。当社の目的は、企業に関連する制裁、規制、風評、人権関連、財務などのリスク（例えば、オペレーションへの支障、サプライチェーンへの支障、人的資本管理戦略への支障）を企業がどのように開示・管理しているかを理解し、当社の期待との整合性を促すことにあります。

議決権行使

当社は、影響を受ける企業を監視し、取締役に対する当社の期待に照らし合わせて、関連するリスクの監視が不十分な場合には、取締役会の責任を問うために議決権行使を利用することを検討します。

アセット・スチュワードシップ・チームは、ステート・ストリートの法務およびコンプライアンス・チームと密接に連携し、影響を受ける市場における議決権行使やその他のスチュワードシップ活動が、関連するグローバルな制裁や規制によって禁止されておらず、許容されることを確認します。ある市場において議決権行使が許容される場合、当社は、これらの株主総会での議決権行使の方法を決定します。必要に応じて、十分な情報にアクセスできない場合や、当社の顧客を風評リスクから保護するために必要な場合は、影響を受ける市場のすべての株主総会に対して「投票しない」という指図を選択することがあります。

結論

この枠組みは、当社のお客様のための長期的な価値を高めるため、ポートフォリオのリスクを積極的に管理するというアセット・スチュワードシップ・チームのコミットメントの一例です。このテーマに関するエンゲージメントのご要望は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズのアセット・スチュワードシップ・チーム（GovernanceTeam@ssga.com）までご連絡ください。

脚注

1. 当社の議決権行使やリサーチプロバイダーによる市場、リスクが起因する国、法人設立国の定義による。

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズについて

当社は、世界各国の政府、機関投資家、金融アドバイザーを顧客とし、顧客の皆様が財務上の目標を達成する手助けを行うために、指針となる以下の原則を毎日実践しています。

- 厳格さが礎
- 幅広い選択肢からの構築
- スチュワード（受託者）として
- 将来への投資

過去40年にわたり、これらの原則のおかげで当社は激しく変動する投資の世界で翻弄されることなく、数百万もの人々の金融面の将来を守る手助けを行ってきました。これは、世界29拠点で活動する従業員の存在、そして、常に向上しようという全社共通の強い信念がなければ実現できなかったと確信しています。その結果、約4.14兆ドル²を運用する世界第4位¹の資産運用会社へと成長しています。

1. Pensions & Investments Research Center、2020年12月末時点。
2. 2021年12月末時点、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ・ファンズ・ディストリビューターズ・エルエルシー（「SSGA FD」）が営業を行っているSPDRの残高約614.3億ドルを含みます。SSGA FDはSSGAの関連会社です。すべての運用資産残高は監査前の数値です。

ssga.com

[State Street Global Advisors Worldwide Entities](#)

本書はステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズが作成したものをステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が和訳したものです。内容については原文が優先されることをご了承下さい。

本書は、情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。本書は、弊社の運用手法等を紹介するために作成・提供されるものであり、特定の金融商品への投資を勧誘する目的のものではありません。弊社グループの運用戦略をもとに弊社が運用を再委託することにより提供可能となる運用戦略も含まれます。

本書は、特定の金融商品の勧誘を目的とするものではないため、運用に係る手数料・報酬等の金額および計算方法を予め示すことができません。なお、投資信託の場合は投資信託毎に設定された販売

手数料、信託報酬やその他費用が、投資一任契約や投資顧問契約の場合は個別契約毎に運用報酬、信託報酬やその他費用がかかります。各金融商品に関する運用リスクや手数料等諸費用の詳細につきましては、契約締結前交付書面やお客様向け資料等をご覧ください。

提供された情報は、投資助言に該当するものではなく、そのようなものとして依拠されるべきではありません。本情報は、有価証券の購入の勧誘または売却の申出とみなされるべきものではありません。本情報は、投資家の特定の投資目的、戦略、税務上の地位または投資期間を考慮したものではありません。ご自身の税務・財務アドバイザーにご相談ください。

投資には、元本割れリスクを含むリスクが伴います。

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズの書面による明示的な同意なしに、本著作物の全部または一部を複製、複写もしくは送信、またはその内容を第三者に開示してはなりません。

すべての情報は、別段の記載がない限り、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズによるものであり、信頼できると考えられる情報源から入手したものです。その正確性を保証するものではありません。これらの情報は、現在の正確性、信頼性もしくは完全性、またはこれらの情報に基づいた意思決定に対する責任についての表明や保証はなく、これらの情報はそのようなものとして依拠されるべきではありません。

© 2023 State Street Corporation.
All Rights Reserved.
Tracking #: 5368722.1.1.APAC.RTL
Exp. Date: 1/31/2024

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社
東京都港区虎ノ門1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー25階
金融商品取引業者関東財務局長（金商）第345号
加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人投資信託協会、日本証券業協会